

総務省改善取組計画
(26年度フォローアップ実施後)

	策定年月日	平成26年10月3日策定、平成28年1月29日改定
分野又は業務名	その他(無線局)	
システム名	総合無線局監理システム	

I 改善促進手続名等

番号	改善促進手続名	平成26年度			25年度 オンライン利用率	24年度 オンライン利用率
		申請等件数	オンライン利用件数	オンライン利用率		
1	無線局免許申請等	223,397	182,662	81.8%	77.5%	74.5%
2	無線局再免許申請等	92,924	56,090	60.4%	68.3%	62.3%
	合 計	316,321	238,752	75.5%	72.5%	67.6%

II 目標及び評価指標等

目標及び 評価指標等		目標及び評価指標等の説明 (内容、測定方法等)	基準値	現状	目標(見込み)・達成時期、 その前提条件等
オンライン申請に係る利用 者の満足度		電子申請届出システム及び電子申請届出システムLiteの利用者に対して、「オンライン手続の利便性向上に向けた改善方針」において実施を予定している、利用者の意見・要望の収集の際等に、アンケート調査により測定	70.0% (平成25年度)	75.5 % (平成26年度)	平成25年度に測定した値を下回らない (毎年度)
オンライン利用率					
	無線局免許申請等 及び無線局再免許 申請等	行政手続オンライン化法第10条第1項に 基づくオンライン利用の状況の公表	72.5% (平成25年度)	75.5% (平成26年度)	73.0%(平成26～28年度平均値)
業務処理時間		データ入力に係る業務処理時間	90,000時間(試算 値)(平成25年度)	平成28年度 試算予定	88,000時間(試算値)(平成28年度)
備考					

Ⅲ 改善取組事項

【様式2】

分野又は業務名		その他(無線局)	
改善促進手続名		無線局免許申請等、無線局再免許申請等	
改善取組事項		具体的内容及び実施時期	備考
1オンライン手続の負担軽減			
	(1)添付書類の見直し	オンライン申請に親和性の高いものとなるよう、申請様式の見直し、免許手続の簡素化を図る。 平成26年度は、電波行政情報化委員会(委員長:電波部長)において申請様式の見直しを検討し、要件定義等の検討を進めた。平成27年度は、平成26年度に引き続き同委員会において、様式見直し等の検討を行い、平成28年度に制度改正の周知を図りつつ機能改修を行い、平成29年度の施行・リリースを目指す。	
	(2)本人確認方法の見直し	法人番号制度の今後の普及促進の状況や、当該番号制度を活用した本人確認方法の導入状況等を確認しつつ、費用対効果、関係指針等との整合性を踏まえ、適時に導入検討等を実施する。	
	(3)オンライン申請等の周知方法の見直し	現在もホームページを活用して利用者へオンライン手続きの方法について周知しているところ、本取組期間(平成26年度～平成28年度)においても、ホームページでの運用周知を維持しつつ、ハムフェア(アマチュア無線のイベントで関東地域で毎年開催。入場者数3万人程度。総務省後援)等のイベントにおいて、利用者からのアンケートを収集し、それらの意見を踏まえつつ、より分かりやすい周知方法について検討を行う。 平成26年度は、ハムフェア2014及び総合通信局等で実施する電子申請周知イベントで得られたアンケート結果、並びにヘルプデスク等に寄せられた意見・要望を踏まえ、「総務省 電波利用 電子申請届出システムLite」のQ&A等の改善を図った。 平成27年度は、平成26年度に引き続き、各種イベントに参画するとともに、アンケート・意見・要望を踏まえ、PDCAを回し、改善を図る。	
2オンライン申請等に係る処理の見直し		オンライン申請に親和性の高いものとなるよう、申請様式の見直し、免許手続の簡素化を図る。 平成26年度は、電波行政情報化委員会(委員長:電波部長)において申請様式の見直しを検討し、要件定義等の検討を進めた。平成27年度は、平成26年度に引き続き同委員会において、様式見直し等の検討を行い、平成28年度に制度改正の周知を図りつつ機能改修を行い、平成29年度の施行・リリースを目指す。(1(1)再掲)	
3システムの利便性の向上		本取組期間において、ハムフェア(アマチュア無線のイベントで関東地域で毎年開催。入場者数3万人程度。総務省後援)等のイベントにおいて、またはインターネット等による利用者のアンケートを実施し、それらの意見を踏まえオンライン申請に親和性の高いシステムを実現する。 平成26年度は、ハムフェア2014及び総合通信局等で実施する電子申請周知イベントで得られたアンケート結果、並びにヘルプデスク等に寄せられた意見・要望を踏まえ、「総務省 電波利用 電子申請届出システムLite」のQ&A等の改善を図った。 平成27年度は、平成26年度に引き続き、各種イベントに参画するとともに、アンケート・意見・要望を踏まえ、PDCAを回し、改善を図る。さらに、これら意見・要望をオンライン申請に親和性の高い様式・システムに反映する。(1(1)、1(3)関連)	
4経済的インセンティブの活用		現在でも、オンライン申請に係る手数料は書面申請に係る手数料に比べ3割程度安価に設定しているところ、平成26年度及び平成27年度に実施する申請様式の見直し、免許手続の簡素化の検討の結果を踏まえ、必要に応じてオンライン申請手数料の低廉化について検討する。	
5普及啓発等		本取組期間において、ハムフェア(アマチュア無線のイベントで関東地域で毎年開催。入場者数3万人程度。総務省後援)や、各地方局等におけるイベントにおいて電子申請の体感フェア、実際の電子申請の支援を行うとともに、免許人関連団体を対象とした周知・説明会を実施する。	
6その他		本取組期間において、電子的な手続の一貫性の一方策として、申請から処分(免許状発給)までを電子的に完結する方策(電子免許状の可能性)を検討する。	